

新庁舎・(仮称)新福祉社会館建設特集号

新庁舎に関すること＝企画政策課企画政策係 ☎042－387－9800
 (仮称)新福祉社会館に関すること＝地域福祉課地域福祉係 ☎042－387－9915

新庁舎・(仮称)新福祉社会館建設 基本設計(案)がまとまりました



※庁舎屋上部分に都防災無線の鉄塔(約20m)を設置する予定です。

市では、新庁舎・(仮称)新福祉社会館の建設に向けて、新庁舎建設基本計画、(仮称)新福祉社会館建設基本計画および新庁舎・(仮称)新福祉社会館複合化整備方針等の理念の実現を目指し、検討を進めてまいりました。今年度は、市民ワークショップやこがねいミーティング等の市民参加を行い、多くの市民の皆さんにご協力をいただきながら、基本設計を進めてきており、この度、新庁舎・(仮称)新福祉社会館建設基本設計(案)がまとまりましたので、お知らせします。

基本方針 「庁舎」と「(仮称)新福祉社会館」を『重ね合わせ』市民が主役となる『交流の場』をつくります

Point1 建物と一体となった立体的な『小金井ひろば』

敷地内に大きなスペースを創出し、さらに(仮称)新福祉社会館の屋上まで立体的に緑を繋ぎます。

既存の樹木も活かしながら、市民の憩いの場、交流の場となる『小金井ひろば』をつくります。

Point2 『重ね合わせ』することで生まれる交流の場

庁舎と(仮称)新福祉社会館の複合部分であるマルチスペース、吹抜けに面して市民活動スペースを配置することで、人と人が集う活動スペースが繋がり、両施設の相互利用が活性化します。

Point3 『防災の拠点』として、安全・安心の複合庁舎

災害対策の拠点となる庁舎は、発災後、速やかに活動できるよう免震構造を採用。災害ボランティアセンター等が設置される(仮称)新福祉社会館には雨に濡れずに活動できるピロティを設置し、防災の拠点として有機的に機能します。

Point4 循環型都市を目指して、環境にやさしい施設

小金井の自然を活用し、高効率設備の設置、運用により、快適で省エネルギーな環境にやさしい施設を目指します。

MAP



計画概要

■敷地概要

計画地：小金井市中町三丁目
 1957番5,7,9
 小金井市緑町五丁目
 1957番17
 敷地面積：11,252.05㎡
 用途地域：準工業地域
 防火地域：準防火地域
 高度地区：第2種高度地区
 日影規制：4時間、2.5時間
 建ぺい率：60%
 容積率：200%

■建築計画概要

主要用途：庁舎、児童福祉施設等、集会場
 建築面積：約3,900㎡
 延床面積：約17,130㎡(地下階含む)
 階数：地上6階、地下1階(庁舎)
 地上3階((仮称)新福祉社会館)
 構造：庁舎…鉄骨造(免震構造)
 (仮称)新福祉社会館…鉄骨造(耐震構造)
 高さ：約27m
 駐車台数：124台(地上62台、臨時駐車場23台、地下39台)
 駐輪台数：400台
 概算費用：約84.4億円

配置計画

既存の樹木を残しながら、まとまったオープンスペースを確保

(1) オープンスペースの確保

- ・建物の配置については、庁舎を敷地南側に、(仮称)新福社会館は敷地東側に配置することで、敷地北側に広いオープンスペース(駐車場、ひろば)を設ける計画とします。
- ・庁舎は地上のオープンスペースを確保しつつ必要面積を確保するため、上層階が迫出す建物形状とし、また、(仮称)新福社会館の1階をピロティ空間とすることにより、地上面のオープンスペースを確保します。

(2) 既存樹木の活用、ひろばの配置

- ・現在、敷地内にある既存樹木は、できる限り、残すように計画します。また、小さなひろばを隣地との境界に配置することで、隣地との緩衝帯を確保するとともに、魅力的なアプローチ空間を整備します。

(3) アクセス空間の整備

- ・敷地外周部に植栽や歩道を整備することにより、複数の方向からのアクセスが可能となります。歩行者、自転車が安全で快適にアクセスできる計画とします。

(4) 臨時駐車場

- ・臨時駐車場は平常時は人が集えるようなスペースとして、繁忙期は臨時駐車場として使用できるよう整備します。なお、臨時駐車場を含め、地上部の駐車場は、発災時及びイベント時の使用等を考慮し、タイヤ止めを設けない計画とします。

ユニバーサルデザイン

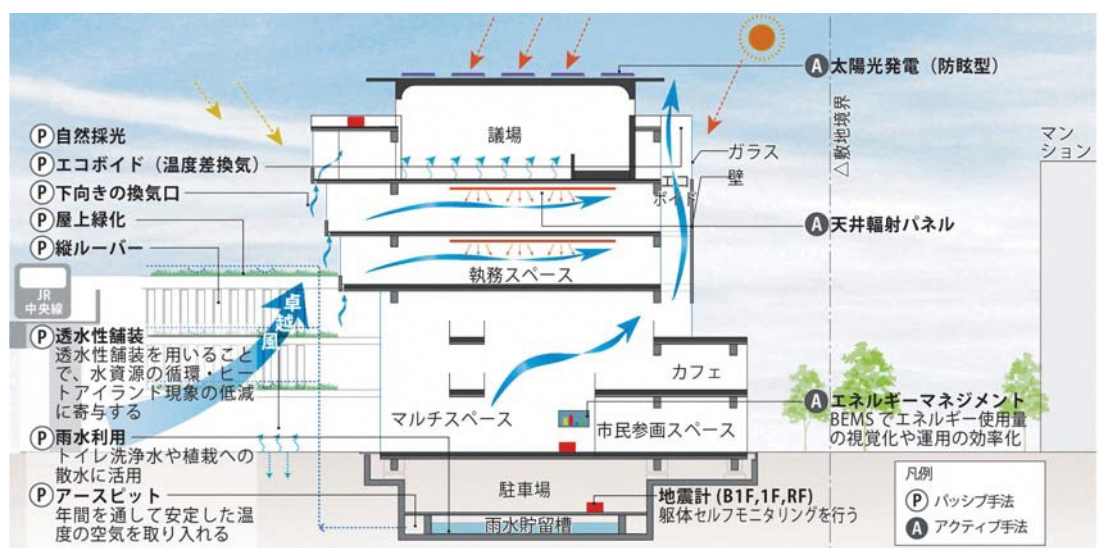
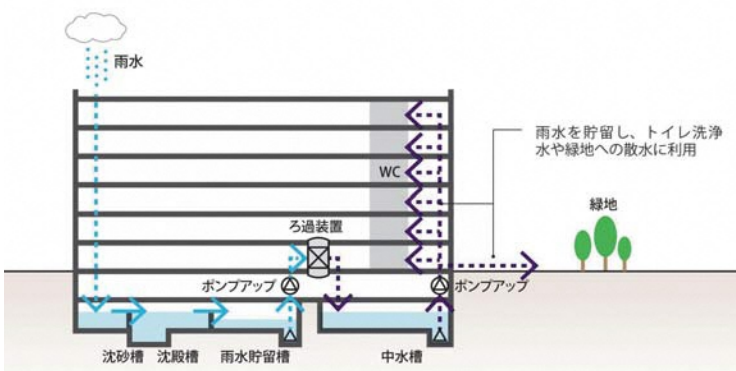
- ・インターホンの設置
敷地西側から一番近い建物出入口、ピロティの車止めから建物の主出入口にはインターホンを設置することにより、視覚障害のある方や車いす利用者等が支援を必要とするときには、案内、誘導などにつながる仕組みが構築できるよう計画します。
- ・敷地内・建物内の段差を極力なくし、傾斜路は1/15以下となるよう計画します。
- ・出入口に近接して、思いやり駐車場を4台設置します。



環境計画

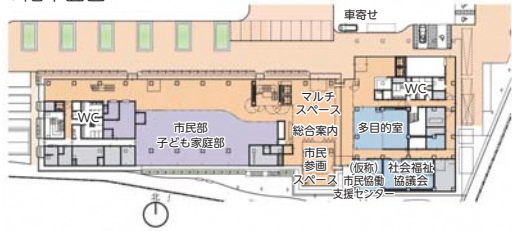
敷地特性を活かしたパッシブ手法を積極的に導入

- ・東西に長い敷地特性や建物形状を活かし、卓越風、自然採光等のパッシブ手法を積極的に導入します。また、高効率設備を設置するアクティブ手法を効果的に組み合わせ、心地よい環境を作りつつ、環境負荷軽減に配慮した建物にします。
- ・雨水は、自然の循環サイクルとして貴重な水資源となるため、雨水を貯留し、トイレ洗浄水や緑地への散水に利用することで省エネルギーを実現します。
- ・車路には、透水性の合材を使うことで、雨水を地下へ浸透させ、敷地外への雨水の流出を抑制しながら、水資源の循環に寄与します。
- ・歩行路は、保水性の高い土を固めた舗装とし、輻射によりヒートアイランド現象を低減します。



平面計画

1階平面図



2階平面図



3階平面図



4階平面図



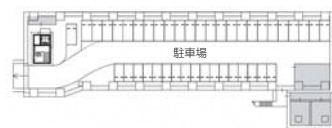
- ・庁舎の1階から3階は市民利用の多い部署（主に市民部、福祉保健部、子ども家庭部）を配置します。
- ・4階は主に環境部、都市整備部及び学校教育部を配置します。
- ・5階は市長室等理事者諸室、企画財政部、総務部を配置します。
- ・6階は議場を中心に議会関係諸室、電気室等を配置します。なお、6階の平面図は、現在、新庁舎建設における議会施設の在り方検討会において詳細を検討しています。
- ・(仮称)新福祉会館の1階は、主に市民協働支援センターをはじめとした市民協働等の機能、2階は福祉推進関連機能や多目的室をはじめとする多様な市民の交流・生きがいづくりなどの市民活動関連の機能、3階は保健福祉や子育て・子育て関連の機能を配置したフロア構成とします。



5階平面図



6階平面図



地下1階平面図



庁舎と(仮称)新福祉会館を複合化するメリットを最大限に活かします

(仮称)新福祉会館は、市内に分散している健康、子育て関連や各福祉関係の機能を新たな施設に集約し、地域共生社会を実現するための拠点として庁舎との複合化を進めます。

【1階】

複合施設のメインエントランスには、市民の参加と協働を支える場として、マルチスペース、市民参画スペース及び(仮称)市民協働支援センターを配置し、市民による多様な交流や活動を推進します。

【2階】

福祉の総合的な相談窓口や障がい福祉や高齢者福祉の各機能と相互に連携する行政部門との効率的な配置を行うことにより、福祉と行政のつながりを強化し、市民サービスの向上を目指します。

【3階】

保健センターと子ども家庭支援センターを同フロアに配置し、子育て世代包括支援センター機能の円滑な運営と、相互に連携する庁舎部門との効率的な配置を行うことにより、市民サービスの向上を目指します。

○市民利用スペースについて

- ・各フロアに多目的トイレを設置する計画とします。
- ・子育て世代が多く訪れることが想定される庁舎の1階、3階にはキッズスペースを配置する計画とします。
- ・庁舎と(仮称)新福祉会館の1階から3階にそれぞれ授乳室を設置する計画とします。

防災計画

(1) 建物の構造

- ・災害拠点となる庁舎は、発災後、速やかに活動できるよう免震構造とします。
- ・災害ボランティアセンター等が設置される(仮称)新福祉会館は、建物の低層化を図るとともに、構造体分類I類に求められる重要度係数1.5を採用した上で、耐震構造とします。

(2) 業務継続計画

- ・非常用発電設備を設置し、7日以上機能維持できる自立した建物を計画します。
- ・地下ピットに雑用水層及び緊急排水層を設置し、発災時に下水道が破断してもトイレの使用ができるよう計画します。
- ・敷地内にある非常災害用井戸については、引き続き発災時に利用できるよう、建物南東部に移設します。

(3) 庁舎

- ・発災時には、庁舎5階の庁議室等を転用し、災害対策本部を設置するほか、地域安全課執務室及び災害情報室等を一体的に活用し、情報の集約化を図ります。
- ・5階の会議室、6階の委員会室は関係機関等の協議、調整のためのスペースとして転用できるよう計画します。

(4) (仮称)新福祉会館

- ・(仮称)新福祉会館のマルチスペースや多目的室は災害ボランティアセンターに転用します。また、3階は医療救護活動拠点、災害薬事センターに転用します。
- ・ピロティ空間は物資の荷揚げや荷下ろし、支援物資等の仮置き場として使用します。

(5) ひろば

- ・建物北側のオープンスペース等のひろばや駐車場は、極力段差をなくし、一体的に利用できるようにします。

↑ご意見をお寄せください

住所	〒
	ふりがな(匿名不可)
使用不可	
施策名	新庁舎・(仮称)新福祉会館建設基本設計(案)
ご意見	※「新庁舎・(仮称)新福祉会館建設基本設計(案)」のページ数(明示のうえ)ご意見をお寄せください。

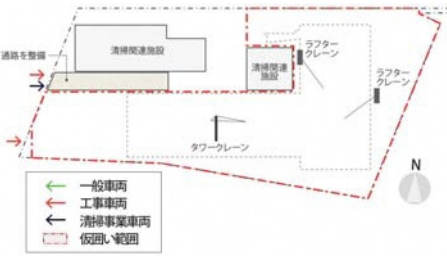
きりとり線

きりとり線

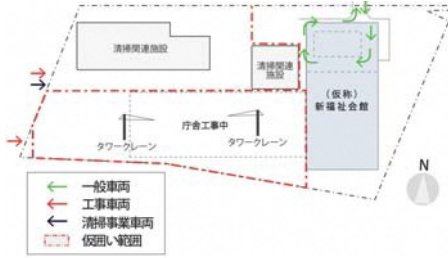
工事ステップ

- ・庁舎・(仮称) 新福祉社会館の建設工事は、現在、庁舎建設敷地内にある清掃関連施設を稼働させながら行います。
- ・このため、庁舎・(仮称) 新福祉社会館の建設工事をⅠ期工事として、(仮称) 新福祉社会館の竣工までの期間を【Ⅰ期-①】、庁舎竣工までの期間を【Ⅰ期-②】とします。
- ・その後、清掃関連施設の機能を他の敷地に移設後、清掃関連施設の解体・撤去、外構を整備するまでの工事期間を【Ⅱ期】とします。

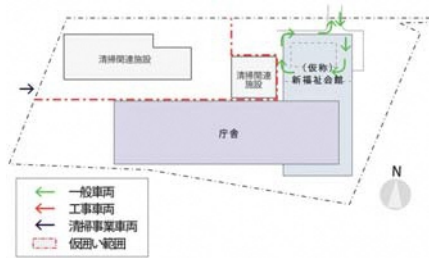
【Ⅰ期】 工事着手時



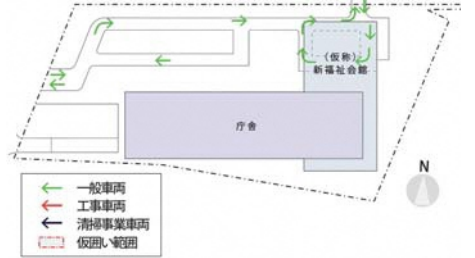
【Ⅰ期-①】 (仮称) 新福祉社会館竣工時



【Ⅰ期-②】 庁舎竣工時



【Ⅱ期】 外構工事完成時



基本設計での市民参加の取組み

基本設計を進めるに当たり、市民の皆さんが利用しやすい施設とするための検討を行うため、市民ワークショップ、ユニバーサルデザインレビュー、こがねいミーティングを開催しました。

『市民ワークショップ』

基本設計者が基本設計過程において、市民の皆さんから様々な声を聞くために、適宜のテーマを設定の上、全4回開催しました。

『ユニバーサルデザインレビュー』

多くの皆さんにとって使いやすい施設とするために、高齢者団体、障がい者団体、子育て世代団体と意見交換を行いました。

『こがねいミーティング』

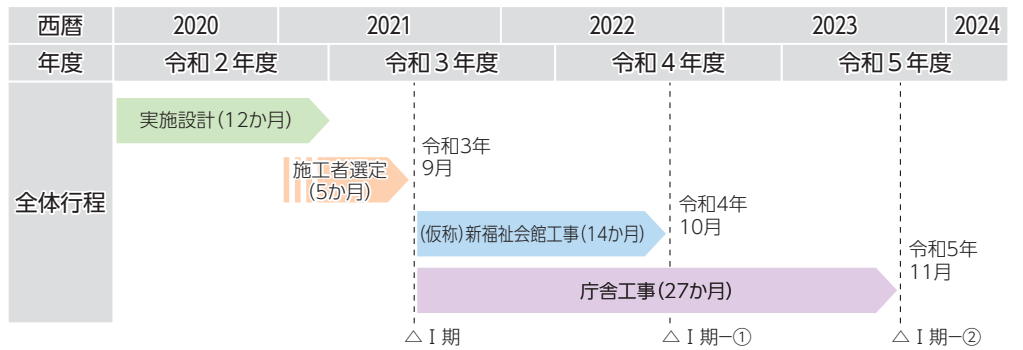
公募市民、学識経験者、関係団体代表等により組織する会議体で全4回開催しました。市民ワークショップ、ユニバーサルデザインレビューで示された市民の皆さんの意見、要望等について議論し、市民ワークショップのテーマに対して方向性を基本設計者に提示しました。

『設計レビュー』

基本設計者から示された技術提案書や検討の経過等を踏まえ、進捗確認を行うため、設計レビューを実施しました。設計レビュー(前期)は、公開で行い、市民の皆さんにもご覧いただきました。

設計レビュー(後期)は3月20日(金)に開催します。詳細が決まりましたら市ホームページ等でお知らせします。

事業スケジュール



新庁舎・(仮称) 新福祉社会館建設
基本設計市民説明会の実施

新庁舎・(仮称) 新福祉社会館建設基本設計(案)に基づき、市民の皆さんに説明します。ぜひ、ご参加ください。

とき	ところ
2/13(木) 19:00~21:00	緑センター
2/14(金) 19:00~21:00	貫井北センター
2/15(土) 14:00~16:00	桜並集会所
2/15(土) 18:00~20:00	東小金井駅開設記念会館
2/21(金) 19:00~21:00	貫井南センター
2/22(土) 10:00~12:00	市民会館・萌え木ホール(商工会館3階)

申当日直接会場へ

問企画政策課企画政策係 ☎042-387-9800 FAX042-387-1224

パブリックコメント

ご意見をおよせください。

市では、現在、新庁舎・(仮称) 新福祉社会館建設基本設計(案)についてのパブリックコメントを実施しております。市民の皆さんのご意見を募集します。

いただいたご意見等は、市の考え方等と併せて無記名で市ホームページ等でお知らせします。

○対象 市内在住・在勤・在学の方、市内に事務所や事業所を有する法人又はその他の団体

○期間 令和2年3月5日(木)まで

○閲覧場所 新庁舎・(仮称) 新福祉社会館建設基本設計(案)は、企画政策課(市役所本庁舎2階)、地域福祉課(市役所第二庁舎2階)、広報秘書課広聴係(同庁舎1階)、情報公開コーナー(同庁舎6階)、公民館各館、婦人会館、総合体育館、図書館(本館)、保健センター及び東小金井駅開設記念会館でご覧いただけるほか、市ホームページでも公開しています。

○提出方法 氏名(事務所の所在地)・住所(団体名及び代表者名)・ご意見を記入し、左のはがき(切手不要)を切り取って郵送してください。なお、任意の様式(氏名・住所・ご意見を記入)での、直接、郵送またはファクス(042-387-1224)による提出も可能です。

○検討結果 意見等に対する個別回答は行いません。検討を終えたときは、意見等の内容および市の検討結果とその理由を公表します。

○問合せ 企画財政部企画政策課企画政策係 ☎042-387-9800 FAX042-387-1224

